

叙述の仕方の確認 通過率57.4%

	主な解答例	割合(%)
○	一文め・私も、いつか電子辞書を使いたと思っています。 二文め・電子辞書は、軽くて持ち運べるという点でとても便利な道具です。	49.4
○	二文めの主語を「それは」としているもの	4.3
○	二文めの始めに「なぜなら」といった接続詞を付けて書いているもの	2.6
△	一文めの主語を「私は」としているもの	1.1
×	二文めの主語がないもの	15.2
×	二文になっていないもの	1.7
×	上記以外の解答	17.9
—	無解答	7.8

誤答を見ると、二文めの主語である「電子辞書は」を補うことができていない生徒が一番多い。主語と述語の照応関係を理解できていないことが考えられる。

- 三 山本さんの学級では、国語の授業で、言葉に関するレポートを書くことになりました。次は、山本さんが書いたレポートの下書きの一部です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。
- 二 私も、いつか電子辞書を使いたと思っています。軽くて持ち運べるという点でとても便利な道具です。には二つの内容がふくまれています。次の条件にしたがって書きかえなさい。
- 意味は変えずに二つの文にすること。
○ 二文めには「道具です。」に対する主語を補うこと。

内容の系統

第1・2学年 伝国
主語・述語の関係

第3・4学年 伝国
修飾と被修飾との関係、文の構成
指示語や接続語の役割

第5・6学年 伝国
語句と語句との関係
語感、言葉の使い方に対する感覚
文や文章の構成

中学校第1学年 書くこと
書いた文章を読み返し、
表記や語句の用法、叙述の
仕方などを確かめて、読み
やすく分かりやすい文章
にすること。

思い出させ
ましょう。

伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

提案

分かりやすい表現にするための推敲の指導を継続的に行うとともに、主語と述語の関係を意識する必然性のある言語活動を仕組みましょう。

様々な例文から主語をとらえさせる指導や、実際に主語や接続語を補って一文を二文に分ける学習活動を設定し、推敲前後の文を比較させて、読みやすくなったという実感をもたせる指導を行うことが重要です。しかしそれだけを取り上げて指導するのではなく、様々な機会をとらえて、推敲の学習活動を継続的に仕組んだり、三人称で書かれた物語を一人称の物語に書きかえるといった文章の主述の関係を意識する必然性のある言語活動を仕組んだりすることが大切です。

要旨の把握 通過率41.3%

主な解答例		割合(%)
○	a 工夫 b 読書の楽しみ	41.3
×	a 工夫 b 読書の面白さ	1.8
×	a 創意 b 読書の楽しみ	1.0
×	a 工夫 だけ正解	21.3
×	b 読書の楽しみ だけ正解	18.4
×	上記以外の解答	10.7
—	無解答	5.5

スロー・リーディングとは、一冊の本にできるだけ時間をかけ、書き手の仕掛けや（a）に注意を払いながら読むことによって、（b）を見出す読み方のことである。

3 次の [] は、文章をもとに、読書法についてまとめたものです。（ ）に入る最も適切な語句を、文章中から（a）は二字、（b）は六字でぬき出して書きなさい。

平野啓一郎
「本の読み方 スロー・リーディングの実践」による。

誤答を見ると、a, b どちらか一方だけを間違えたものが多い。「スロー・リーディング」というキーワードに関する複数の情報を見付け、関連的にとらえることができていると考えられる。

内容の系統

第1・2学年 読むこと
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年 読むこと
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年 読むこと
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

中学校 第1学年 読むこと
文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

提案

生徒が目的や必要に応じて情報を取り出し再構成をするような授業を仕組みましょう。

生徒が主体的に目的や必要に応じて情報を取り出し再構成するような授業を仕組むことが必要となります。その際には、目的や必要に応じた情報とは何かを考えさせることが必要です。例えば、「スロー・リーディングを勧めるリーフレットを書く」という単元を貫く言語活動を設定します。その際に、読み手にスロー・リーディングをしたいと思わせ、実際に行わせるという目的のためには、「スロー・リーディングとは何か、どんな効果があるか、具体的にどのように行うか」といった複数の情報を見付け、まとめることが必要であることに気付かせます。そのうえで、教材や集めた資料等を読ませて、必要な情報を取り出して再構成させていく単元を展開していくことなどが考えられます。